

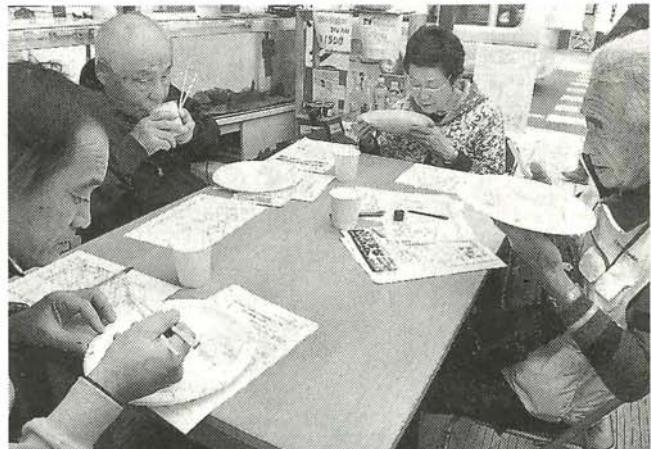
令和元年（2019年）12月24日（火曜日）

「三島産米」へ意見交換

GW三島 3品種を試食、評価

三島産米の新銘柄登録に向けた試験栽培に取り組むNPO法人グラウンドワーク三島は今年10月に収穫した水稻未登録3品種の「試食評価会」をこのほど市内の同NPO事務所で開いた。NPOの関係者をはじめ、生産者、研究員、飲食事業者など計23人が参加。味を食べ比べながら、「三島産米」に向けた意見交換を行った。一番評価が高かった。

続き今回が2回目。前回は4品種で実施し、いわたら号、いわた8号、いわた12号の3品種に絞った。渡辺豊博専務は「素晴らしい水で、おいしい米ができる」と率直な評価をお願いしたい」とあいさつした。試食した参加者は「これはすしに向いている」「どれも甘みがあるておいしい」と語った。いわたら12号が、一番評価が高かつた。



香り、味、粘りなどを評価する参加者＝三島市のグラウンドワーク三島事務所